

サイレントクリーナー SC20-32P

取扱説明書

SC20-32Pは、お手持ちの20ℓタンクに乗せるだけで強力なクリーナーになります。

- ① 部品の点検
- | | |
|---------------|---|
| サイレントクリーナー本体 | 1 |
| 吸込ノズル | 1 |
| サクシオンホース | 1 |
| ホースバンド | 2 |
| スパーフィルター（集塵用） | 1 |
- ② サクシオンホースの取付
- サイレントクリーナー本体の吸込口にサクシオンホースを取り付けホースバンドで留めます。
(この時サクシオンホースを右に回すと取り付けやすい。)
- ③ 吸込ノズルの取付
- サクシオンホース先端に吸込ノズルを取り付けホースバンドで留めます。
(この時吸込ノズルを右に回すと取り付けやすい。)
- ④ コンプレッサーへの接続
- エアー配管には必ずエアーフィルターを取り付けてご使用ください。
(配管内の錆等が装置内に入りますと性能が極端に低下します。)
エアーホースは内径8.5mm以上をご使用ください。
エアーバルブを閉じた状態でエアーホースを接続してください。
- ⑤ 作 動
- サイレントクリーナー本体のエアーコックを開いて吸い込み開始です。
- ★ 吸い込みが弱い時
エアー供給源の不備
- (1) エアー圧力が低すぎるか、エアー量の不足。
(2) エアーホースが長すぎるか、細すぎる。
(3) カプラの多用。
(不適当なカプラを使用しますと、エアーの流れが非常に悪くなり十分な性能が発揮できません。)
- ★ 特 長
- 使用中ホース口が塞がり、タンク内部の真空度が急上昇してもセフティバルブが働き各装置やタンクが破損する心配はありません。
これはサイレントクリーナーの大きな特長です。
 - 但し、セフティバルブは板厚0.4mmのタンクを使用するものとして、真空度23kPa(2345mmHg)で調整してあります。
タンクによっては板厚0.3mmのような薄いものもあり、このような鉄タンクは真空度23kPaでも破損しますのでご注意ください。
 - 尚、セフティバルブはむやみに調整しないでください。
- ★ 注 意
- 使用中に吸い込みが弱くなった時は、集塵用フィルターの目詰まりが考えられます。
- 集塵用フィルター
- 吸い込まれたごみは、集塵用フィルターで補集されます。
集塵用フィルターの交換時期が遅れますと、サクシオンエリア内の真空度が上がり過ぎ、ごく小さなごみが集塵用フィルターを通り抜けてサイレントフィルターに付着し、目詰まりが生じますので早めにお取り替えください。
- サイレントフィルター
- 集塵用フィルターを通過してきたごく小さなごみの他にも、エアーの汚れ(錆や油が含まれている)等も目詰まりの原因となりますのでご注意ください。

粉塵には別売の粉塵用フィルターセットをご使用ください。



TEL (06) 6572-1207
FAX (06) 6572-1256

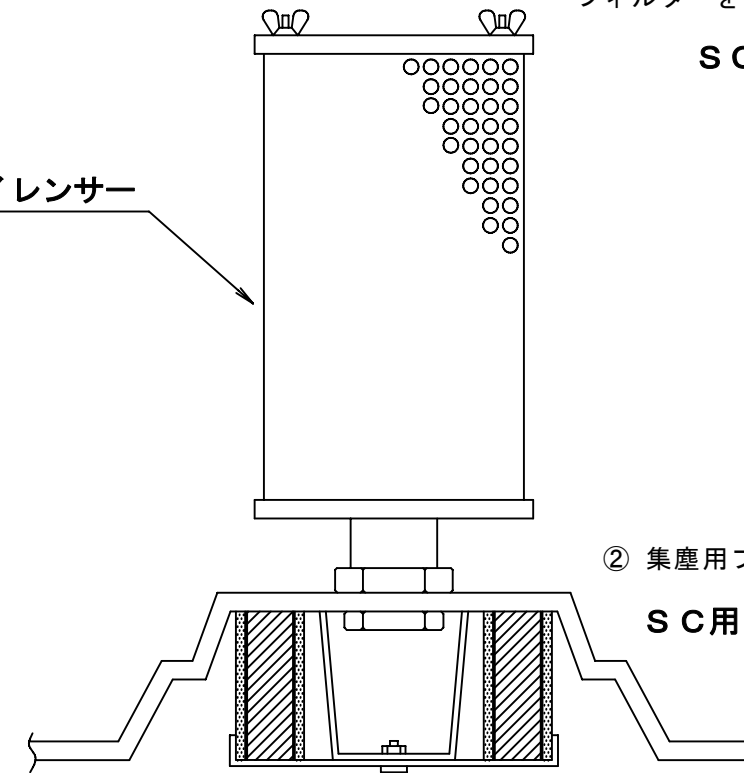
ご不明の場合は販売店、又はメーカーにお問い合わせください。

フィルターの説明とご注文方法

- ① サイレンサー内部に、サイレントフィルターが入っています。
フィルターをご注文の場合は、

SC用 サイレントフィルター
とご注文ください。

① サイレンサー



- ② 集塵用フィルター（黄色）をご注文の場合は、

SC用 集塵用交換フィルター（小型6個入）
とご注文ください。

② 集塵フィルター

- 本機は集塵用フィルター付のため、粉塵・粉体等の吸い込みには不適當です。
粉塵・粉体等の吸い込みには、別売の粉塵用フィルターセットを取り付けてください。
フィルターセットをご注文の場合は、

SC20用 粉塵用フィルターセット

とご注文ください。

ハイドロストッパー（別売）の説明

- 液体を吸い込み中に、タンク内の液体が一定量になるとボールが浮き上がり、吸い込みを自動的に中止する装置です。
ハイドロストッパーをご注文の場合は、

SC用 ハイドロストッパー

とご注文ください。